

阿 総 第 460 号

平成 29 年 10 月 6 日

阿賀野市議会議長 高 橋 幸 信 様

阿賀野市長 田 中 清 善

「第20回議会報告会」における市民からの要望等について（回答）

平成29年9月20日付け、阿議第127号で依頼のこのことについて、下記のとおり回答いたします。

記

件 名	① 旧赤坂小学校の活用について	久保
<p>平成29年3月に安田小学校との統合により閉校となりました旧赤坂小学校施設の利活用につきましては、現在、公的施設としての活用検討と併せ、市、および、文部科学省のホームページにより民間事業者へ事業提案型アイデアを募集することとして、準備を進めているところであります。</p> <p>学校という使命は終えることとなりましたが、地域の皆様にとっては思い入れが深く、特別な存在であることから、その活用は周辺地域、または、市の産業振興、福祉の向上、雇用促進、その他住民サービスの向上に寄与することを要件として考えています。</p> <p>すでに、閉校となった他の旧小学校施設と同様に、数件の問い合わせ等がありましたが、使用が施設の一部であったり、要件に合わなかったりと、実行に移せると判断できるものではありませんでした。</p> <p>今後、有効と判断できる活用方法案がまとまり次第、地域の皆様にご報告のうえ、協議をさせていただきます。</p> <p>なお、大規模な施設であり、全体的に効果的な活用を図るには容易なことではないことをご理解いただき、併せて地域の皆様からも、地域コミュニティの拠点とする可能性など、活用方法についてご検討をいただきますようお願いいたします。</p>		
担当 総務部 管財課 財産管理係 (内線2361)		

件名	② うららの森農園ハウス研修生の年齢等の制限について	久保
<p>高齢化が進む農業の担い手の育成・確保、施設園芸を取り入れた複合営農へ誘導するパイロット事業として、村杉地内のうららの森に先進技術を導入した12アールの大型の施設園芸ハウスを整備いたしました。</p> <p>このハウスでは現在、最先端のICT機器を使いトマト栽培に取り組んでおり、市場出荷も行っています。</p> <p>ご質問の農園ハウス研修生受け入れにつきまして、年齢制限等はありません。将来、阿賀野市で新規就農を考えている方、また、ICTを導入した園芸ハウスによる高収益の農業を実践したいなど、熱意のある方の研修を受け入れることにしております。</p>		
担当 産業建設部 農林課 (内線2670)		
件名	③ 宝珠温泉への道路蓋掛けや拡幅について	久保
<p>ご要望の道路は、観光や保養の場として多くの市民が利用する宝珠温泉への重要な路線であることから、できるだけ幅員を確保し利用増進を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>現在、路肩の危険防止のため、応急にポールによる安全確保を図っておりますが、側溝蓋掛け等による整備を検討してまいります。</p>		
担当 産業建設部 建設課 (内線2320)		

件名	④ 素敵な出会い応援事業について	久保
<p>素敵な出会い応援事業は、今後子育て世代となる未婚者に出会いの場を提供することを目的としています。平成28年度は、①ホームページ、性格診断webアプリの制作、②出会いイベント・魅力アップセミナーの開催、③婚活サポーター養成セミナーの開催、④婚活支援情報の発信、⑤婚活サポーターによる結婚相談、引き合わせを行いました。</p> <p>出会いイベントの開催については、対象年齢を20歳以上40歳未満として7回、対象年齢を30歳以上（上限なし）として1回、計8回開催しました。述べ105名の方からご参加いただき、連絡先を交換するカップルが29組成立しました。また、婚活サポーターによる結婚相談、引き合わせを希望する「縁結び会員」には、20代前半から40代後半の男性11名、30代後半の女性1名、計12名の方からご登録いただきました。この「縁結び会員」の対象年齢は20歳以上（上限なし）としており、出会いイベントに参加できない方もご登録いただけるようになっております。</p> <p>なお、平成28年度は女性参加者が少なく、この点を改善するため、無料通話アプリ「LINE」の機能を利用してアンケートを行い、女性は20代後半から30代前半を、20代後半から40代前半に変更しました。現在、このアンケート結果を元に、平成29年度の出会いイベントを企画・開催しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>		
<p style="text-align: center;">担当 総務部 市長政策課 政策推進係 (内線2221)</p>		

件名	⑤ 消防団の小型動力ポンプ付積載車整備について	久保
<p data-bbox="193 300 1394 582">消防団に配備している小型動力ポンプ、および、積載車の耐用年数は、概ね20年と内部基準で定めております。現在、使用しているものは、小型動力ポンプの年式が昭和59年式から平成14年式、積載車は平成5年式から平成14年式となっており、後部座席が屋外に設置してあるタイプで、老朽化したものから計画的に更新しております。</p> <p data-bbox="193 604 1394 952">安田地区は、人力台車から積載車に入れ替えを始めたのが平成5年であり、屋根付きデッキバンタイプの積載車は平成11年頃からでありました。貴自治会地区の小型動力ポンプ付積載車は平成10年に取得したもので、18年間の使用でありましたが、後部座席が屋外設置でありましたので、順番を繰り上げて更新を行ったものです。毎日使用している機械ではありませんので稼働量はわずかでしたが、経年による劣化が進んでいており、更新は妥当であったと考えております。</p> <p data-bbox="193 974 1394 1131">市としましては、消防団員の活動環境の向上を図るため、今までより性能の高い機械に更新しておりますが、市民の負託にこたえ得る組織であり続けるため、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p data-bbox="193 1153 1394 1254">なお、参考に他の団で使用していたものですが、劣化の様子の写真を添付させていただきました。</p>		
担当 消防本部 消防団事務局 電話62-2058 (内線226)		

阿賀野市消防団 積載車不具合状況写真

平成24年6月

ガソリン内に含まれている水分、タンク内の空き空間(湿気)により錆が発生したものと思われる。

□燃料タンク内、錆状況



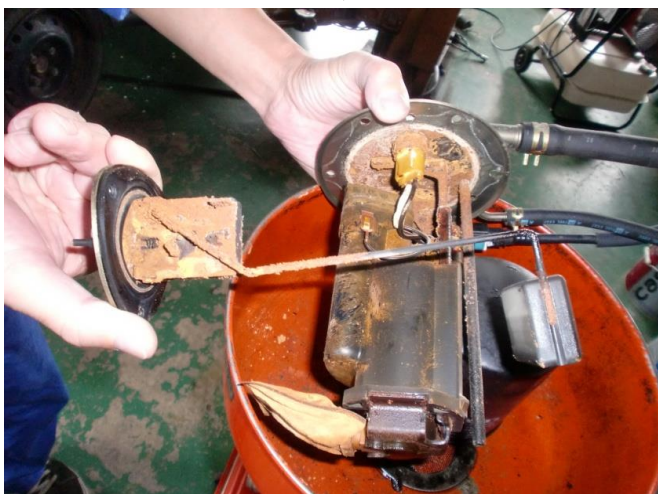
□燃料タンク内、錆蓄積状況



□燃料ポンプ錆状況



□ガソリンゲージフロート錆状況



件名	⑥ 買い物支援事業について	久保
<p>買い物支援事業については、水原六斎市が開催される4と8のつく日に、自治会等の単位で5人程度お集まりいただければ実施しております。内容は、市役所からワゴン車、または、マイクロバスにより、自治会の集会所等までお迎えにあがり、水原六斎市や近くのスーパーでの買い物を楽しんでいただき、その後、おんこ茶屋で休憩後、自治会の集会所までお送りする事業となっております。</p> <p>買い物時間やおんこ茶屋での昼食の有無、水原商店街での買い物など、代表の方と担当が話し合いを行い、お迎えの時間も含め当日のスケジュールを決定いたしますので、皆様のご要望に十分お応えすることができるものと考えております。</p> <p>なお、この事業は、水原六斎市を基本に考えたものであり、安田地区での買い物を想定しているものではありませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>		
担当 産業建設部 商工観光課 商工振興係 (内線2351)		
件名	⑦ 北朝鮮のミサイル問題について	久保
<p>ミサイル問題につきましては、市民の皆様の立場から見ますと、情報入手からミサイル到達まで僅か数分程度であり、「どう行動すれば良いのか」判断するにはあまりにも時間がないものと考えます。一部の市で実施したような避難訓練は有用なものとは考えますが、現時点では、訓練の実施よりも近くに堅固な施設がある場合はその施設に避難し、堅固な施設がない場合や家にいる場合などは身を低くし頭部を防護するなど、ミサイル発射時の「とるべき行動」を周知し、冷静な行動をとっていただくことが、最も重要であると考えております。</p> <p>したがって、今後も、ミサイルが発射された際の行動について、広報に掲載するなど啓発に努めるとともに、防災講座などの際に「とるべき行動」について理解が深められるような取り組みを行ってまいりたいと考えております。</p>		
担当 総務部 危機管理課 地域安全係 (内線2233)		

平成 29 年 9 月 27 日

阿賀野市議会議長 高 橋 幸 信 様

阿賀野市教育委員会

教育長 岩 村 弘 一

「第20回議会報告会」における市民からの要望等について（回答）

平成29年9月20日付け、阿議第128号で依頼のこのことについて、下記のとおり回答いたします。

記

件 名	① 小中学校の通学用バスを今後どうするのか。観光用バスの運行もあるが、今後もこの体制を続けるのか。スクールバスを用意するのか。予算的にはどうした方が助かるのか。	久保自治会
<p>現在の小中学校の通学用バスの運行状況は、通年運行が6校、16方面、18台、利用者約570人、冬季（3か月）運行が4校、14方面、14台、利用者約380人となっており、全て業者委託で対応しております。</p> <p>委託と直営を比較した場合、それぞれにメリット・デメリットがあります。</p> <p>事業費の面では直営が有利ですが、運転手や車両確保などの運行管理に関しては、これらのノウハウを有している業者委託が有利になります。</p> <p>近年、運転手の確保が非常に困難になっている状況があり、また、児童生徒数の増減に伴う運行経路や車両変更については、業者が柔軟に対応できることから、当面は、現状の委託方式を継続する予定です。</p> <p>なお、使用するバスの種類については、通学バス専用車両ではなく乗車人数分の座席数を有する車両であることを条件としていることから、これによりバス事業者は、他の用途にも使える車両をスクールバスに使用することができ、結果として委託費の抑制が可能となっています。</p>		
件 名	② 小学校の統合について、児童数が少ない分田小はなぜ統合しないのか。反対すれば残るのか。	久保自治会
<p>分田小学校は、現在、88人の児童数となっており、次年度以降も児童数は減少傾向が続き、数年後にはいわゆる複式学級が生じる可能性があるところですが、現時点では、これを事由とした分田小学校の統合については、市としては検討をしていないところです。</p> <p>学校統合につきましては、第一義的には、地元の皆様の意向を最優先にしたいと考えており、その方向性に基づき学校統合の是非を検討してまいります。</p>		
担当 教育委員会 学校教育課		TEL : 62-2790